学校番号	２０５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	４単位	２年次	・BLUE MARBLE English Communication Ⅱ（桐原書店） ・Tetra 4 ４技能対応総合問題集（啓隆社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業は、「話すこと（やりとり・発表）」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能・５領域の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に英語を使い、活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・高校生の日常的な会話やスピーチを聞いて，それぞれの話者の意図や話の展開を理解することができる。	・高校生の日常的なソーシャルメディアなどを読んで，書き手の意図や文章の展開を理解することができる。	・興味や関心のある日常的な話題に関して，相手の発話に応答しながら詳しい内容を伝え，会話を続けることができる。	・日常的な話題に関する経験や描写を，考えや気持ちを交えながら，話を整理して詳しく伝えることができる。	・日常的な話題に関する経験や描写を，考えや気持ちを交えながら，話を整理して複数段落で詳しく書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の文法や語彙、表現に関する理解を深め、主に聞くこと、話すことにおいて実際のコミュニケーションで適切に活用する技能を身につけている。 実施方法：定期考査	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、社会的な話題や国際的な問題について、外国語で情報や考えなどを的確に理解し、適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。 実施方法：定期考査	主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。外国語の文法や表現技法について、自国の言語との違いを意識し、外国語に関する理解を深めようとする姿勢を身につけている。 実施方法：スピーキング課題、提出物、小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 題材名	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson1 **Leadership in Modern Times** Lesson2 **The Diversity of Traditional Houses** Tetra 4 Unit 1・2	聞くこと	a：リーダーシップの重要性、世界の伝統家屋の特徴に関する説明を聞き、主旨と要点を理解できる。 b：聞いた情報を根拠に、求められる資質や住まいの形が文化・環境とどう関係するかを考えて整理できる。 c：内容に関心をもち、要点をつかもうとして積極的に聞く態度を示す。	定期考査 授業取組
		読むこと	a：リーダーの資質や未来の家について、必要性・推量の表現を使って意見交換できる。 b：相手の意見を踏まえて自分の考えを調整し、理由を添えて伝えたり質問したりできる。 c：理解を深めるために積極的に対話に参加する。	定期考査 授業取組
		話すこと	a：リーダーシップの重要性や未来の家のスタイルについて、要点を整理して説明できる。 b：根拠を示し、比較や推量を用いながら論理的に発表できる。 c：聞き手を意識して伝え方を工夫し、改善しようとする。	スピーキング 課題
		書くこと	a：必要性や推量の表現・時制を用いて、リーダー像／未来の住まいについて書ける。 b：主張・理由・具体例の構成で意見を筋道立てて書ける。 c：語彙・表現を見直して推敲し、より伝わりやすい文章にしようとする。	定期考査 英作課題
	中間考査			
	Lesson3 **Improving Society with Avatar Robots** Lesson4 **Approaches to Food Waste** Tetra 4 Unit 3・4・5	聞くこと	a：アバターロボットの活用や食品ロスの現状・対策に関する説明を聞き、要点を理解できる。 b：聞いた内容を基に、技術の可能性や社会課題の原因・解決策を整理し、自分の考えをもてる。 c：社会課題を自分事として捉え、必要な情報を得ようと集中して聞く。	定期考査 授業取組
		読むこと	a：ロボットや食品ロスに関する英文・図表を読み取り、助動詞・態・準動詞を含む必要な情報を理解できる。 b：本文や資料の情報を比較し、課題の大きさや対策の有効性を判断できる。 c：統計や図表も積極的に読み取り、理解を深めようとする。	定期考査 授業取組
		話すこと	a：ロボットの未来への期待や食品ロス削減策について、助動詞・準動詞を使って意見交換できる。 b：相手の提案を評価しながら、自分の提案を理由とともに述べ、よりよい案に練り上げることができる。 c：課題解決に向けて対話を前に進めようと積極的に関わる。	スピーキング 課題
		書くこと	a：助動詞・受動態・準動詞を使い、ロボット活用や食品ロス削減の提案を書ける。 b：本文・資料の情報を言い換えて根拠を示し、説得力のある意見文にまとめられる。 c：語彙選択・構成を見直して文章をよりよくしようと推敲する。	定期考査 英作課題
	期末考査			
2	Lesson5 **Animals as Indispensable Partners** Lesson6 **An Irish Poet on a Mission** Tetra 4 Unit 6・7	聞くこと	a：動物が社会にもたらす役割や、百人一首・翻訳の説明を聞き取り、要点を理解できる。 b：聞いた内容から、動物の利点・課題や和歌の魅力・翻訳の意図を考察できる。 c：内容に関心をもち、自分の経験や文化的背景と関連づけて積極的に聞く。	定期考査 授業取組
		読むこと	a：動物と人間の関係、百人一首や翻訳に関する英文を読み、利点／欠点、比較表現や関係詞を理解できる。 b：文章の情報を比較し、動物の役割や和歌の魅力について自分の考えを整理できる。 c：文化的背景を意識しながら積極的に読み、理解を深めようとする。	定期考査 授業取組
		話すこと	a：動物の利点・欠点、和歌の魅力について、比較表現などを使いながら意見交換できる。 b：相手の意見から気づきを得て、自分の考えを発展させたり調整したりできる。 c：対話に主体的に参加し、より深い理解に向けて質問や意見を積極的に行う。	スピーキング 課題
		書くこと	a：利点・欠点を述べる表現や比較表現を用いて、動物との関わりや和歌の魅力について書ける。 b：意見と理由を整理し、自分の考えを明確に文章としてまとめられる。 c：よりよい表現を求めて推敲し、書く内容を改善しようとする。	定期考査 英作課題

	中間考査			
	Lesson6 **An Irish Poet on a Mission** Lesson7 **Be Free from Gender Bias** Tetra 4 Unit 8・9・10	聞くこと	a：百人一首の魅力や翻訳の役割、ジェンダーギャップの説明を聞き取り理解できる。 b：文化的価値やバイアスの背景を考え、内容を比較して判断できる。 c：身近な問題として捉え、積極的に聞き取ろうとする。	定期考査 授業取組
		読むこと	a：和歌・翻訳・ジェンダーバイアスについての英文を読み、比較表現・条件表現を理解できる。 b：文章内容を整理し、文化理解やジェンダー問題に関して自分の意見を形成できる。 c：未知語や抽象的内容にも粘り強く取り組み、理解を深めようとする。	定期考査 授業取組
		話すこと	a：和歌の魅力や翻訳の違い、ジェンダーバイアスの例について意見交換できる。 b：相手の考えを踏まえて、自分の意見を再構成したり調整したりできる。 c：主体的に発言し、問題解決や理解の深化につながる対話を行う。	スピーキング 課題
		書くこと	a：比較や条件表現を用いて、和歌の魅力やジェンダー問題について書ける。 b：自分の考えを筋道立てて整理し、根拠のある文章としてまとめられる。 c：内容を見直し、よりよい文章に改善しようとする。	定期考査 英作課題
	期末考査			
3	Lesson7 **Be Free from Gender Bias** Lesson8 **The Diminutive Giant Who Fought for Refugees** Tetra 4 Unit 11・12	聞くこと	a：ジェンダーギャップや難民問題の説明を聞き、背景や活動内容を理解できる。 b:聞いた情報を比較し、社会問題の原因や必要な支援を考えることができる。 c：国際問題を自分事として捉え、主体的に聞こうとする態度を示す。	定期考査 授業取組
		読むこと	a:ジェンダーバイアスや難民危機に関する英文を読み、比較表現・義務表現・仮定法などを理解できる。 b：問題点・背景・影響を整理し、自分の視点で判断できる。 c：社会・国際問題に関心を持ち、積極的に読み取ろうとする。	定期考査 授業取組
		話すこと	a：ジェンダー平等への取り組みや、難民支援の重要性についてわかりやすく説明できる。 b：根拠を示しながら論理的にまとめ、聞き手に理解される形で発表できる。 c:自分の発表をよりよくするために、表現の工夫や構成を改善しようとする。	スピーキング 課題
		書くこと	a：比較・条件・義務・仮定法を用い、ジェンダーや難民問題について意見を書ける。 b：主張・理由・根拠を整理し、説得力のある文章にまとめられる。 c：文章を推敲し、内容を深めながらよりよい表現を目指して書き続ける。	定期考査 英作課題
	学年末考査			

※表中の観点について　[a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度]